

◇教育社会学グループ
小内 透（教授）：社会的不平等の再生産と教育との関連
浅川 和幸（助手）：労働組織（文化も含む）の再生産にかかる教育の問題について

◇特殊教育・臨床心理学グループ
室橋 春光（教授）：発達障害における認知・学習過程の解明と認知発達援助法の開発
片山 順一（助手）：事象関連脳電位を指標とした、健常児・者および発達障害児の注意過程の研究
◇発達心理学・児童発達グループ
佐藤 公治（教授）：幼児の集団遊びと社会的相互過程の縦断的研究／小学校の教室における協同的学习と社会的相互交渉過程
陳 省仁（教授）：乳幼児の近くと行動の発達（ダニナミック・システム・アプローチ）／幼児の発話におけるhand gesturesの発達／子育ての比較文化的研究

会歴史的アプローチによる
言語発達研究／教育・保育
空間の生態学的研究
藤野 友紀（助手）：集団
づくりの視点から見た保育
者の役割と保育内容、保育
方法についての研究／実践
における記録についての研
究

◇教育臨床心理学グループ
田中 孝彦（教授）：子ど
も・青年の自我形成と人間
形成をめぐる問題と課題
間宮 正幸（助教授）：癡
達・成長に困難をかかえる
子ども・青年の臨床的諸問
題の発生と対応に関する研
究

葛西 康子（助手）：メン
タルヘルス領域における心
理教育的ケアと地域リハビ
リテーション

◇身体運動科学グループ
山田 憲正（助教授）：身
体運動のメカニズムと運動
制御

保延 光一（助教授）：多
重リンクモデルによる運動
の最適化に関する研究
矢野 徳朗（助教授）：生
体内のエネルギー供給機構
や恒常性維持機能の解明
◇体育方法グループ
井芹武二郎（教授）：授業

書方式による体育教授法の研究
進藤省次郎（助教授）：体育教育の内容と方法についての教授学的研究
鈴木 敏夫（教授）：近代体育・スポーツの成立・展開過程
大沼 敏史（助教授）：近代日本体育史の研究／日体育交流史
須田 力（教授）：積雪・寒冷地における住民の生活と身体活動に関する研究
石井好二郎（講師）：身体活動や生活習慣が心身に及ぼす影響
森谷 繁（教授）：健康環境および労働態様の変化と住民・労働省の健康問題に関する研究
◇健康教育・教育生理学グループ
ループ
福地 保馬（教授）：地域
▽卒業生の方からみれば「知つてゐる先生」が次第に少しくなるのは、いささか基礎的・実証的研究

急でもあり淋しくも感じられるのは当然でしょう。しかし、新陳代謝と歴史を重ねている証であります。同期生の結束を中心とした同窓会の結束を必要とする所以であります。二年後には国立大学は法人へ移ることになります。そうなれば、卒業生・同窓会の後援をいただくことは今までとは比較にならないほど重要となってまいります。教育学部同窓会の一層の發展と教育学部へのご支援をお願いして、ご挨拶といちをします。

こだわつとるのう（四）



共に自費出版した。県内の有機農業の生産者や食農教育をする人々、農的暮らしを楽しむ人々に取材して、現在の広島県の農業の記録と言ふ意味を含めて、一冊にまとめたものだ。

一年半あまりに及ぶ編集会議は、メンバーに營農者もいるので夕方から深夜に及ぶ為、夫が参加。取材には家族で出かけ、夫婦で編集スタッフとして参加したあとがきも含めた七本の原稿を書き、校正、リスト等のワープロ打ちと、最後の二ヶ月は毎晩遅くまで作業をして、やつと出版記念交流会の当日、会場に出来上がった本が届けられるというスリリングな結果だった。

松山の印刷所に頼んで土豆インクと再生紙で作られたこだわりの本が、ダンボールから顔を出した時の仲間の歓声と拍手と、声には出さない安堵のため息は、何枚もの写真になつて残っている。

手作りで、手探りで作つていつた本なので、本当に形になるのか不安も多い過程だったが、出来上がつたら多くの人の笑顔があり、現地三刷を重ね、四千三百部

ほど世に出ることができる。テレビや新聞に出たので、各地から反響があった。「書かれたよ。こういう本を書いてたんよ。」「自分達でこんな本を作りたい。」という声を聞くと、何より嬉しい気持ちで一杯になる。大変だったが、私達も本当に楽しんで作ることができただのだから。

取材ということで、今まで興味があつた方々の所に行つてじっくりお話を聞く機会が与えられ、一人一人が哲学を持つて地に足のこいた生き方しているといふことを、直接感じることができた。そこでは、手作りの家や、無農薬でいろんな工夫をして作られた米や野菜があり、また私達の仲間同士の集まりでも、必ず手機的に作られたもの（採れたての落花生を湯がいたものや、黒米の入ったおにぎり自家製の小麦から作つたとツキーなど）が持ち寄らる。みんなで苦闘しながらも幸せな時間が持てたのだ。

生産者の方々には、こちらから元気と勇気をもらおうとも度々あつた。生産者を買うということでお支えついに自分達の生活も支えられることも度々あつた。生産者

感した。

ブキンや手作り味噌。せつ
けん、エコハウスのほか、

私たち家族と友人の手作り樂器のサークルも紹介されている。土佐清水の手作り樂器の工房で国産の木を使い自分でデザインして作る樂器で、弦樂器を弾くことを夢見ていた私には、大きな喜びだった。



作り楽器
サーキル
のメンバ
ーは少し
づつ増え
る手

その他にも本作りのメンバーから「オーガニック生活学校」と言う企画が新たに生まれた。有機的に生活していくための知恵を学ぼうということで、太陽光パネル作りや、豚の糞尿を使つ

菜の花から手がけた菜種油と
廃油からの燃料作り、ソーラー¹クラークツギングなど、循環型社会を目指す道を仲間と
模索している。

振り返ってみると、心理学テストでも「アイドリーマー（日昼夢を見るひと）」
とされるような夢見がちで、社会への問題意識（もちろん教育に関してはあつたが）
の薄かつた自分が、「やつとこ」まで来た」という気がしている。

大学卒業後勤めたのは、子ども関係の商社で、北大農学部出身の夫と結婚し、県職員である夫のふるさと広島へ。子どもを産んで育てるに当たり、当然だと思っていた自然分娩、母乳育児がなかなか叶わない世の中に愕然とし、母乳育児サーケルの活動を皮切りに、子どもの成長と共に、食に農に関心が広がつていった。夫の実家が義父のはじめた開拓農家で、ゆくゆくは十巴の土地と山を守つていかなくてはならないという農的暮らしを学ぶ必然もあった。尾道に来てからは、大学時代から興味のあつたネイチャーゲームの指導員の資

学テストでも「アイドリーマー（白昼夢を見るひと）」とされるような夢見がちで社会への問題意識（もちろん教育に関してはあつたが）の薄かつた自分が、「やつ」と「ままで来た」という感覚がしている。

様々な場所に子供
で参加するたびに
から問題意識のある
に大いに感心したり
当に知らなくちゃい
のは、私達のような
を育てている世代で
かと危惧したり…。

の本からの一番のプレゼントは、色々な形で人がつながり、「つながりは現在進行形」、と云う」とだと思つてゐる。

「お前、書道の時間講師を
手伝えよ。」と声をかけられ、否応なしに引受けた。仕舞つたのが、余技の書の目覚であつた。同僚に同じく書道講師（他教科担当）がいたので心強かつたのであるが、何しろ勝手の違う教科ゆえ、教室で語る、ぐずれた姿勢で書けるか、「姿勢を矯せ」と荒い息遣いや、息を止め体を堅くしーは良い線は生まれんぞ、「腹式呼吸」だ。とにかく、「習うより、慣

おを取り、絵本のクラブを主宰し、シユタイナー教育に共感し、ナショナルトラストのボランティアワークで二週間イギリスへ行き、農業や環境、平和を考えていけたらということ。

して以来、実に47年間、よ
くぞ勤務できたものだと、
自分ながら感心している。
停年を4年後に控えて、
予想もしていなかつた定時
制勤務を命ぜられ赴任する。
業をするというよりは、む
しろ、自分自身の学習時間
というべきものである。課
題作品を何枚も書き、指導
助言された事項を少しでも
多く生徒に伝えようと努力

分の興味があつたことを全部体験することができたしこれが自分の道だつたんだなあと思える。

元々、地元の子育て情報誌などに文章を書いていたのだが、今、地元の新聞と縁ができる、フリーとして取材して記事を書いたり、数回の連載を書く機会が与えられた。

本を作つた私達の願いは本当に興味を持つてくださる方、必要としてくださる

石 烟 琢 滉

「これでは如何んど、書道塾に直行し、習字特訓に集中する。(お陰様で所属書会の師範格を取得)「百聞は一見に如かず」ではないが過去に幾つかの書会に入会しにし通信指導を受けたことがあつたが、やはり、直接師の揮毫を見聞きする指導に優るものはない」と改めて確認する次第である。

「教えるは学ぶの半(なれば)なり」の文言あり、授

然しながら人間の生き様をみると、心身共に姿勢を正し、平常心を失わず、無心に行動するということは大道に通ずるものであり、書道の「道」たる所以こそありと思う。

お粗末な思考と思いながらも、とかく、近頃、その道に少々足を入れた程度の輩が、流行に便乗して、専門家宣しく振舞うのを見るとき、敢えて、拙を守る生き方に共鳴したい。

早く勤めから放免され、

余技また愉

一冊一千円、送料一六〇円で発送させて頂きます。)

不足も手伝つて冷汗の連続である。殊に、通信制の年配者から、「お手本をお願いします。」と言われ、一瞬、茫然自失といった体たらくであつた。

ひたすら書くのみなのだと語つている中に体育の実技指導の如き形になつてくる所詮止むなしか。

然しながら人間の生き様を見るとき、心身共に姿勢

記者から、「お手本をお願いします。」と言われ、一瞬、茫然自失といった体たらくであつた。

これでは如何んと、書道塾に直行し、習字特訓に集中する。(お陰様で所属書

指導の如き形になつてくる所詮止むなしか。

然しながら人間の生き様を見るとき、心身共に姿勢を正し、平常心を失わず、無心に行動するということは大道に通ずるものであり、

来春三月 愈々 教職生
活から解放されることになる
平成6年、定年退職した
後も引続き9年間も、時間
講師としてお邪魔したこと
になる。

過去に幾つかの書会に入会しに通信指導を受けたことがあつたが、やはり、直接師の揮毫を見聞きする指導に優るものは無いと、改めて確認する次第である。

お粗末な思考と思ひなが
らも、とかく、近頃、その
道に少々足を入れた程度の
輩が、流行に便乗して、專
門家宜しく振舞うのを見る
とき、敢えて、拙を守る生

第 19 頁

趣味の、余技としての「書」を氣儘に心ゆくまで愉しみたいと思う、と同時に引込み思案の自分を、講師に引出し、書の愉しさを認識させてくれた亡き恩師に感謝と冥福を祈りたいと思つ。勤めを去るにあたり所感の一端を記す。

卷之三



この「無用」の俳句にはまつてしまつた。

三十七年半勤めた地元新聞社を一昨年九月、定年になつた。翌月から引き続き嘱託となつたが、社員時代とは比較にならぬ負担の軽さに「放課後」の時間を持て余すようになつた。これで仕事を辞め、まるきり毎日が日曜日になつたら…と思つた矢先、同僚に「月一回、老舗そば屋の主人が主宰する句会があるので参加しないか。酒付きだよ」と誘われた。この一言につられ、のこのこ出掛けたのがきっかけだつた。

何事もそうだろうが、首を突つ込んで初めてその面白さ・奥の深さを知つた。森羅万象を、たつた十七音で表現するのだから難しい。といって、今更プロを目指すわけでもなく、普通なら結社に所属して勉強するところそれは遠慮して、全く自己流、唯我独尊、伝統俳句と現代俳句の垣根も超越する時には川柳もどきの「迷句」をひねつて悦に入つてゐる。

俳句を始めて二ヶ月、ふと目に入った、伊藤園の「新俳句纂集」に応募したところ昨年の特別佳作となり、愚

作が同社の「おういお茶」の「玉露」と「ホット緑茶」のペットボトルに印刷された。後で、総応募数百二万句の中の五百句に入ったのだと聞いてびっくりした。「ど素人さ」が良かったのだろう。
俳句を始めて最も興味深かつたのは、例えば、百人が同じ題で詠んでも、百人が百人、全く違う句になること。人による表現の違い、また、できる句に対する評価も、あきれるほどバラバラ。人間の個性・感性に、これほどまでに差があるものか」と、あらためて思い知らされた。

第三回



66年卒 教育史 遠国 ◇みなさんお元気で相変わらず「同窓会だより」とおり、一月から学部長となるとき大学院元気と聞いたのを出してください。郷里・富山から頂戴しました。仕事を文字にしろくなりますが、ピソードからうれしかりません。

。これは中村千晶さ
ら召し上げた由緒正し
ソネで、おまけに福浦
子さんが編んだマフラ
決めて登壇したという
です。挨拶原稿は以下
でした。

たらしいおともだち、
たいようじえんにゅう
おめでとうございます。
はキツネの重ちゃんで、
みせんせいのともだち
うじえんにはおもしろ
と、たのしいことがい
いあるよ。おべんとう

ラック一五周)→教育学部
というコースです。距離は
八キロメートル強でしょうか。
トラックはアスファルトよ
り遙かに走りやすいのです。
ただし最初の五周はしづく
退屈で、堀内さんが「肩の
力を抜け」と後輩に檄を放
ついていた声を思い出しながら
コーチは必要だ、明日の会
議の予定は、疲れるだけじ
やないか、などと種々の想
念が頭を支配します。その
後は爽快感あるのみ。別に
日曜日毎に一〇キロメート
ル走っています。柿木由理

格好の暇つぶしと言えそうだ。
「冬ざれに色落ちしたる六
十路かな」一定年後のブル
ーがかつた心境を詠んだも
のだが、余生には俳句が彩
りを添えてくれると信じ、
俳人が「廃人」になるまで
精進するつもりです。

四〇四号室と
その周辺（一一一）

◇楽しいことがありました。
各学部毎の新入生ガイダン
スが入学式前にありました。
僕は山本美穂子さんに造つ
てもらつた似顔絵入りのカ
ードを一年生に配りました。
「似てる似てる」と歓声
があがりましたから成功です。
◇四月一日に北大幼稚園
入園式があり来賓挨拶をし
ました。挨拶したのは僕で
すが、この一つ一つの言
ふこと意匠した羊羹はともかく
美味でした。有難いことです。
そう、入学式にはモーニン
グを着たのです。大学院生
が冷やかしで写真を撮つた
のです。見たいですか。こ
れも想像してください。

ぼくはたまごやきとイチゴです。
まいにちげんきよくきて
くださいね。おしまい。
フネツクスは砂漠に棲息
するキツネです。子ども達
は身じろぎもせすキツネを
見つめており、ついでに僕
のことも記憶してくれた様
子でした。ところで、「重
ちゃん」は重吉の愛称で、
重吉は宇野重吉から借りりま
した。宇野重吉は僕の父と
同じ福井県出身で、僕が最
も尊敬する舞台俳優なのです。
◇ランニングは細々と続い
ています。昼夜みか夕方に、

ほくはたまご」やきといチゴです。
まいにちげんきよくきて
くださいね。おしまい。
フネックスは砂漠に棲息
するキツネです。子ども達
は身じろぎもせすキツネを
見つめており、ついでに僕
のことも記憶してくれた様
子でした。ところで、「重
ちゃん」は重吉の愛称で、
重吉は宇野重吉から借りま
した。宇野重吉は僕の父と
同じ福井県出身で、僕が最
も尊敬する舞台俳優なのです。
◇ランニングは細々と続い
ています。昼休みか夕方に、
教育学部→陸上競技場（ト
ラック一五周）→教育学部
というコースです。距離は
八キロメートル強でしょうか。
トラックはアスファルトよ
り遙かに走りやすいのです。
ただし最初の五周はしづく
退屈で、堀内さんが「肩の
力を抜け」と後輩に檄を放
つていた声を思い出しながら
コーチは必要だ、明日の会
議の予定は、疲れるだけじ
やないか、などと種々の想
念が頭を支配します。その
後は爽快感あるのみ。別に
日曜日毎に一〇キロメート
ル走っています。柿木由理

子さんが「走る学部長といふのがいい」と言つてくれました。水泳はコートが療養中なので僕も休みです。そうそう、陸上競技場でオムラサキを初めて観ました。学内に食草があるのでようか。これも楽しかったこのひとつです。

◇構内の野鳥観察は全く不調です。キビタキ・アカハラを聴き、エゾアカゲラの巣を確認し、ハリオアマツバメの飛翔が描く巨大な円弧を眺めた程度です。一度だけチゴハヤブサが斜めに横切りました。

◇以下は、四〇四室とその周辺で会った同窓生の方々です。

下山亜紀さんはバルコ前で、長谷川功さんは長沼温泉で、相馬克男さんと横浜グランドホテルで、中静未知さんは銀座で、川館祥人さんはJR千歳線列車内で、大島孝人さんは千歳空港で、仙波(狩野)和子さんは狸小路で、新田和幸・羽田貴史さんは学会で、高橋俊郎さんは個展で、多田亜紀子さんはビッグカメラの前で、石加代子が出演した「常陸坊海尊」しか観たことがなかったので、欣喜雀躍して

土田佳織・三山雅子さんとは映画館の前で、古村えり子さんは植物園前で会いました。

長屋良行さんは学部長室へ両三度立ち寄つてくださいました。新井(岡田)直子・高津(丸山)雅子さんは大学祭での僕の講演に来てくれました。小野塙恒男さん宅に泊めてもらいました。

高橋美和子・市村猛樹さんは僕がコーディネーターをつとめた遠友学舎総長室炉邊談話に来てくれました。NHKニュースで金沢の市場を紹介している向井一弘さんを見ました。

いざれも極め付きの出会いでしたが、極め付きは昨年一月八日だったか九月だったかに、馬渕広さんに会つたことです。場所は木本俳優座劇場稽古場。ゆは上越教育大と学部で、白取道博さんは東京五反田と横浜グランドホテルで、お互いの健在と年齢を確認し、劇場で会つたことを喜びました。稽古場公演の演目は

ことなります。なかなか応えたのは、青木久美子さんの姪である青木久美子さんと話す高校一年生です。今年の七月六日は仁子さんの一七回忌でした。

◇一九三九年に設置、一九四八年に廃止となつた軍事保護院所管の戦没者寡婦特設教員養成所に関する資料収集を続けておりました。戦没者遺族を対象にした軍人援護会『ほまれの家』一九六号の所在を最近になつて知り、ようやく読むことができました。戦没者寡婦特設教員養成所に関する記事が豊富でした。「戦没者寡婦特設教員養成所の歴史」が戦争未亡人へのまなざしと自立としてまとまるは

ことなります。なかなか応えたのは、青木久美子さんの姪である青木久美子さんと話す高校一年生です。今年の七月六日は仁子さんの一七回忌でした。

◇一九三九年に設置、一九四八年に廃止となつた軍事保護院所管の戦没者寡婦特設教員養成所に関する資料収集を続けておりました。戦没者遺族を対象にした軍人援護会『ほまれの家』一九六号の所在を最近になつて知り、ようやく読むことができました。戦没者寡婦特設教員養成所に関する記事が豊富でした。「戦没者寡婦特設教員養成所の歴史」が戦争未亡人へのまなざしと自立としてまとまるは

ことなります。なかなか応えたのは、青木久美子さんの姪である青木久美子さんと話す高校一年生です。今年の七月六日は仁子さんの一七回忌でした。

◇予期せぬこともありました。東側からいつも幼稚園児の声が聞こえます。それで「不機嫌ときどき晴れ」というわけです。

籍をおく神奈川県立湘南高等学校通信制課程の調査を中心に行進めていた一九五四年は、日本製鋼所室蘭製作所の大工場が自衛隊生徒設置準備を行いました。保安庁・防衛省は日本製鋼所社宅街のものであり、この年の遠足の弁当は給食のコップパン一個のみでした。僕は、警官隊が労働者を殴打するのを見るえながら見たのです。

ストライキのさなかに台風一五号に襲われ、瓦がふわりと浮き、高台の社宅の屋根が吹き飛びました。生活の全部が打ちのめされるという気分でした。再軍備を巡る国会の情勢は小学校の教室でも議論になりました。しかし、僕は自衛隊生徒を高校生になるまで知らずにいたのです。このテーマはある種の悔いから発しています。

猛烈な頻度で開催される会議の合間に、少年兵・浮浪児・戦争孤児・戦没者寡婦特設教員養成所に関する資料を集めながら、不機嫌な日々を過ごしております。

教育学部社会教育ゼミに所属していた私は、「社会教育主事」という職業についていたのです。このテーマはある種の悔いから発しました。今、その夢が半分叶い、北海道常呂郡の訓子府町という人口6500人の町の公民館(教育委員会社会教育課)で働いています。「社会教育主事」という職名での発令はいた

北大構内や教育学部で出会った人々は、塙本智宏、井沼淳一郎、横輪(石井)純子・中西弘、川島るい、近藤健一郎、戸田博史、美馬朋子、糸山さやか、福浦奈朋子、中沢耕太、高橋亮、望月由美子、二俣(佐々木)みちる、牧原香苗、後藤篤志、藤原彰人、内沢達、島由佳、青木慶太郎、岩井公司、吉田雅子、阿部真、米家直子、来島糸江、中野醇子、佐々木幸子、松本伊智朗、熊谷正志、新國(生野)寿恵、平田直毅、鎌田恵以子、魚谷昌弘、岡戸(武山)三佳、大矢麗子、清水亜希、山下ちずえ、嘉多山幸、吉田(三上)基子、湯浅雅之、皆川義隆の面々。井沼淳一郎さんと横輪(石井)純子さんは置き手紙です。皆川義隆さんは末娘あやを伴つて現われました。岡戸三佳さんは須田勝彦さんへ生牡蠣を持参したのですが、須田さんは不在とて代わりに僕が頂戴しました。

僕も随分と長くここにおり、卒業生に会うたびに否応なしに過ぎた年月を確認する



がこちらにエネルギーをくれる存在であるのは確かだと思う。低学年の子どももそれらしさは言うに及ばず、中・高学年の子どももそれに異なったかわいさがある。そうして小学生を見ていると、散々手を焼かされた中学校の悪ガキどものことも「アイツら今どうどうしているかなあ」と懐かしむ気持ちになれるのが面白い。いつか養護教諭としての実力をつけたら、また中学校で勤務したいとさえ思う。

そうはいつても、中学校では子ども相手に力ツとなつて怒鳴つたり腸が煮えくりかえるような思いをしたるものだが、その経験があるからこそ小学校では気長に子どもと向き合うことができる。ケガにつながる危険行為を除けば、小学生のしさかず悪さくらい怒る気にもなれないのだ。これまでは自他ともに短気でケンカつ早いと認めていたのだが、いまや気分はすっかり孫のお守りをしているおばあちゃんである。腹痛を訴えて頻繁に来室する子どものお腹をなでながら「『手当て』とは本当に体に手を当てることなのだな」なんて感慨にふけつたりして。

02年修士卒 教育臨床心理学



私の仕事は 医療福祉相談

私は今年2002年の3月に修士課程を修了するまで、教育臨床心理学研究グループに所属しておりました。昨年の今時期はちょうど修士論文に取り組んで真っ最中でした。檜山で高校生に聞き取り調査を行つたのでですが、その時のことや論文を書いている時の大変さが鮮明に思い出されます。早いものであれからもう1年が経ちました。自分が関心を持つたテーマを大切にしてそれを深く考えていくと

いう、一見簡単なようにも見えますがとても大切なことを身をもって学ばせてもらつたようを感じています。今年の3月に大学院を修了した後、4月からは札幌市の職員として、市立札幌病院に勤務しています。病院での私の仕事は医療福祉相談というものです。

医療福祉相談とはどのようなものかというと、おおまかに言えば次のようになります。何らかの病気で病院にかかりた場合、その病気の治療をし、治つたからといって、その方の不安のすべてが取り除かれるわけではありません。例えば、医療費の支払いや生活費など経済的な心配ごとがあつたり、健康保健や年金など社会保険制度などがよくわからぬとか、社会福祉制度やサービスの内容、利用方法について情報を得たい等々、療養生活の中で生じる悩みというものは、さまざまです。そういう患者さんやご家族の悩みを聞きともにどうしていけばよいのかを考えていく、というのが医療福祉相談です。…とこのように書いてみたものの、まだまだ働き始めたば

02年卒 教育方法



かりの新米の私は、相談にこられる患者さんがいても、何もできないでいる自分をもどかしく感じることが多々あります。また、現在医療・福祉・保険といった制度の改正が行われている真つ中最中であり、最新の情報を患者さんにお伝えしてゆくためにはまずは自分が勉強する必要があります。うる覚えでは意味がなく、正確にポイントをつかんで話をすることができますがきなければなりません。常に自分をそういう状態にしておくためにも、これからさらに勉強していく必然是性を痛感しています。

目の前にいる方が何に困難を感じ、何を求めているのかを聞き、その人にとって一番よいのはどのようなことか、そのためには自分は何がお手伝いできるだろうかをまず考えるというスタンスは学部や大学院時代に養われたように、今思ひます。貴重な6年間を北大の教育学部で過ごすことができて、本当によかつたと感じています。

イスされた。確かに、毎日授業や生徒たちとの関わりの中ではこちらが期待した通りの結果はなかなか表れない。初めのうちは、そんな状態に歯がゆい思いをしたり悩んだりもした。しかし、今の自分が関わっているのは、一般的な「子ども」ではないのだから、理論通りにならないことは仕方がないことだし、だからといって、目の前の生徒たちに対してどのように接していくべきかを摸索していかなければならぬと感じている。そんな時、経験のない自分が拠り所とするものはやはり大学で学んだことなのである。どうすることが本当に生徒のためになるのか、それは教育学部で学んだすべてのことの大もとであるようだ。

一方で、生徒たちから教わることの多さに驚いている。同じ生徒でも、昨日と今日ではまったく違うし、個人で関わる時とクラス全体で関わる時でも大きく変わってくる。当然、どんな時にどう接するかで表れる結果も変わってくる。それだけ

に責任の重さを感じ、常に生徒との真剣勝負なのだと考えている。毎日の積み重ねが必要であるし、積み重ねていく中で生徒の意外な一面が見られた時の嬉しさはこの仕事に就くまでは想像できなかつた。また、授業の後に「今日の授業は面白かったよ！」と生徒が言ったてくれた時は本当に嬉しく感じる。大学の研究では実感できなかつた、授業作りの難しさとやりがいを実感できる瞬間である。授業は教師だけでは作れないのだということを、痛いほど教えられる。

教授学研究
グループの近況

北大教育学部の學問的伝統は、厳しい時代、教育科 学研究会の諸先輩が試みを努力に邇る。それは次の四点に要約されよう。

(1) 教育学の研究は、古めかしい訓戒を垂れる規範学ではなく、また非合理精神の注入を支える思弁的方法ではなく、実証の精神に基づくこと。

(2) 時流に迎合することなく、時々の政策の動向、あるいは運動の動向に対し、眞の批判精神を以て対応すること。

(3) 人間社会の多様な価値志向性を承認する、自由主義の精神は右の二点に内在する。

(4) さらに、「上からの教育思潮」と「下からの教育思想」(波多野完治)を止揚した、新しい教育研究ネットワーク形成、そして人間

社会発展に関する総合的研究を通して教育内容の根本的改善を図ること。

北大教授学研究グループは砂沢喜代次先生による、実証的授業研究の開拓に始まつた。戦後日本の教育建設をめざして研究者と実践家の協働体制が築かれたことは、教育科学研究会の先輩たちが希求したことの実現だつた。しかし、日本が冷戦体制の一翼に繰り込みされる情勢の中で教育界は不幸な対立にまきこまれ、戦後民主主義教育は解体するに向けた心血を注いだ活動は各学校、各教師による、新しいカリキュラムの構成に現代の日本においてその再生が切望されていることを強調したい。

教授学の研究が開始される。明治維新の授業はこの時期を代表する成果だった。また教育科学研究会国語部会、科学教育研究協議会、数学教育協議会などによる諸結果の検討を通して、文学作品の読み方指導、力学、電磁気学、熱力学を含む物理学教育、環境教育などの領域での新しい提案が生み出された。さらに、数学教育ゼミ学生、大学院生との共同研究の成果だったことは私たちのグループの特色だと思う。

所から見物し批評するものでなく、授業の目的、内容、方法の各レベルにおいて具体的な提言をなし、それに対する子どもからの厳しい審判を受けるべきものである」という姿勢も貫いていきたい。

(北大教育学部教授)



卷之三

中村総長は、学問や研究に厳しく時代や社会に透徹した先見性を有し世間や人に寛容で大慈悲深い心をお持ちです。

▲因みに、私が直接かかわり「寒るほど頭を垂れる稲穂かな」この謙譲の美德に充ちたるは

前崎玉県　畑　和知事

(財)全日本スキー連盟名誉評議員

堤　義明会長

前あさひ銀行
増野武夫頭取

北海道大学　中村睦男総長と申せましよう。

敬意の念深くいたす次第です

◆教育学部は生きる
▲逸見勝亮学部長御就任を祝します。

「同窓会だより」の表題「シリーズ四〇四号」とその周辺

長期連載、逸見先生の同窓会への熱い思いが窺えます

この難局に当り御心労多きことと思いますが、斬新的構想の実現を期待いたします。

教育学部の伝統は浅い、それ故に寧ろ大胆に「変化に適応できるもの」であると思います。

(1) エキサイト ピジョン

(2) デベロッパー マインド
(3) ニューバイオニア シット
プが必要でしよう。
古い頭で陳腐なことお恥
しい。
「太平洋の橋にならん」を
範とする使命感の強い良い
善い能い学生を輩出してく
ださることを望みます。
正に、過保護安易怠慢・
軽率の付けは大きい。自か
らを顧みて苦笑する。
▲「私の政権には三つの優
先課題がある。
一に教育、二教育、三も
教育だ」と、ブレア英首相
は強調する。又不登校児の
親には罰金を科す。
日本は有償指導者が家庭
訪問をして登校を促しケア
ーする。
賛否はあるが一考を要す
る問題である。
総合大学に於ける教育学
部の存在其の役割と責任は
実に大きい。吉きを祈る。

接）「から「北海道夕張由沼の沢」に入植した。5町歩を五ヶ年で開拓その苦労は筆舌に尽し難いがそれは吾が先祖のみにあらずして北海道に入つた全ての人が流した血汗である。

私はその地で生れ育ち学んだ（沼の沢小・夕張高）北太卒業後、道立赤平高等学校、同小樽櫻陽高校一年奉職。昭和四十一年埼玉県教育委員会に招へいされ、埼玉県民として今日に至る。

▲私は「ふるさと」を次のように呼ぶ（書く）

古郷＝福井県 故郷＝北海道郷里＝夕張 古里＝沼の沢 郡土＝埼玉（超七百万人）

私は、故郷北海道の広報郷土埼玉の宣伝にはことの他懸命である。

▲「北海道こそ21世紀の希望の地」が、私の持論その確かな可能性を秘めている。その為には従来の北海道に一般的な「三段階消滅の実理」（それはいいね、できるといいね、だれかやつてくれるといいね）を却けることである。

▲二〇〇二年度地方交付税（単位百万円）一番北海道七八六、三九三 二番新潟

玉県三〇七、〇四五、都零円の配分額である。中央ニ追随・依存・礼賛の体質を、推瑞（善政推進）・偉存（立派な存在）、麗餐（自然美・美味）に改善することであろう。要するに、自立のエネルギー即ちフロンティアスピリットの再燃。正に、北海道ルネサンス・アイデンティティの發揮その好機到来である。

▲北海道の自発性

北海道は、商売・宣伝・社交が少々下手ではないか。単に大様とか純朴などとは言つていられない。

綿密な要領と巧妙な演出が必要である。

北海道のオリジナルと求テンシャルをクローズアップし、ダイナミックなエキジビション、ともかく大いにアピールすべきである。悠長感を排し、善意の危機感、克服と創造・希望と前進、その氣概こそ北海道を再び輝く未来の地とするのではないだろうか。

いささか我田引水になるが、この十年来、夕張のメロンと長芋を道外へ、埼玉の梨を道内に贈り賞味を願つてゐる。その数、毎年百人を

平成14年10月1日

えて言及するなら、教育学
部同窓生で何事にも無関心。

無応答の人が結構多い様に
思う。恒例の同窓会・年会
費はもちろんだが、平成十
一年創立五十周年に係る諸
事業・行事に対し余りにも

冷淡否尊情な〇Bが多いの
には驚き失望した。私の様
な感傷的・郷愁的・懐古的・
執着的・能動的なものから

みれば、同窓会などは最も
愉しい交流の場であるが。
私の哲は「万難を排して
出る」これ公に為すなり。
同窓生諸氏、どうぞ御出席
御協力ください。

ベリスト最高峰登頂計画実施。
現世界記録男子六十五歳。
女子六十三歳・最年少二十
三歳全て日本人。
七十歳の成就是、世界的・
驚異的・超人的であり偉大
な足跡をエベレストに刻む。
北海道大学同窓生の縁を
以つて御声援の程お願いし
ます。彼の成功を保証します。

◆現世無常

近年、親交深き人が黄泉
に赴く、無情である。喜よ
り悲多きこの頃もある。
私は其の遺族とも音沙汰を
絶やさない様に気を配つて
いる。

加齢と共に「健康に勝る
宝なし」けだし金言として、
真に健康（健脳 健心 健
体）を慮ることが、日々の
仕事でもあり家族への忠誠
でもあると思つてゐる。

翁を崇拜する。

「賢者はすべての財宝を失
つても貧乏ではない」恩師

▲三浦敏三氏（T・J・北大卒
スキー部〇B雄一郎氏尊父）
は99歳にして世界の山を滑
っている。正に、生涯現役
の象徴と言えよう。

「菊残猶有傲霜枝」の如く、
その鑿られた姿、後光さす
翁を崇拜する。

「賢者はすべての財宝を失
つても貧乏ではない」恩師

菊野正隆先生（元教育学部
教授）のお好きな言葉です。

▲私は愚者、一徳を探し求
めている。枯木も山の眞い、
アイの獻上（埼玉県アバ
ンク協会加入昭和六十三年
眼球提供登録）この程度で
部長時代。

・第6号H11年「四十周年
記念を期して」一五二二字

高村泰雄学部長時代

・第16号H11年「学部創立
五〇周年を記念して思い出
をつづる」（所感）四二二

四字 木村保茂学部長時代

○近藤静人氏（昭29年卒）
此の度は、小島忍同窓会

ぞし敬愛される条件でもあ
ろう。

ある少年水泳クラブで指
導者が「水泳クラブで得た
ものは何か」、「ハイ筋肉
です」と答えた少年。この

答えは、私にとつて單にユ
ーモアではなく眞実である。

年々硬化・乾燥・縮小する
生理的体力的老化現象の実
態に抗して筋力増強は至難
の業である。

▲三浦敏三氏（T・J・北大卒
スキー部〇B雄一郎氏尊父）
は99歳にして世界の山を滑
っている。正に、生涯現役
の象徴と言えよう。

青少年育成アドバイザー
彩の国埼玉頭脳バンク指導
者

埼玉県PTA連合会・埼玉
県スポーツリーダーバンク
埼玉県子ども会連絡協議会
指導者 等に

委嘱されていますが、如何
なる機会に於いても、ふる
さとの広報宣伝は決して怠
りません。

埼玉県PTA連合会・埼玉
県スポーツリーダーバンク
埼玉県子ども会連絡協議会
指導者 等に

委嘱されていますが、如何
なる機会に於いても、ふる
さとの広報宣伝は決して怠
りません。

「菊残猶有傲霜枝」の如く、
その鑿られた姿、後光さす
翁を崇拜する。

翁を崇拜する。

「賢者はすべての財宝を失
つても貧乏ではない」恩師

菊野正隆先生（元教育学部
教授）のお好きな言葉です。

▲私は愚者、一徳を探し求
めている。枯木も山の眞い、
アイの獻上（埼玉県アバ
ンク協会加入昭和六十三年
眼球提供登録）この程度で
部長時代。

・第6号H11年「四十周年
記念を期して」一五二二字

高村泰雄学部長時代

・第16号H11年「学部創立
五〇周年を記念して思い出
をつづる」（所感）四二二

四字 木村保茂学部長時代

○近藤静人氏（昭29年卒）
此の度は、小島忍同窓会

事務局長から「字数無制限
テーマ自由」の御指名、そ
の放任的厚意的言葉に甘え、
賛察力不足と悪癖の多弁駄
弁同様に拙長文で貴重な紙
面を浪費し申譯ありません。

御容赦のほどを。

10月十七日（木）の同窓
会でお会いしましよう。同
窓生各位の御多幸をお祈り
いたします。

H14年6月18日 幹事会に
て報告分

H13年10月13日～H14年
6月18日

2月 北大季刊リテラ・ボ
ブリ発送 36通

5月 北大季刊リテラ・ボ
ブリ発送 41通

6月 幹事会開催 北大遠
友学舎

8月 北大季刊リテラ・ボ
ブリ発送 41通

10月 幹事会開催 北大遠
友学舎

11月 幹事会開催 北大遠
友学舎

12月 幹事会開催 北大遠
友学舎

1月 幹事会開催 北大遠
友学舎

2月 幹事会開催 北大遠
友学舎

3月 幹事会開催 北大遠
友学舎

4月 幹事会開催 北大遠
友学舎

5月 幹事会開催 北大遠
友学舎

6月 幹事会開催 北大遠
友学舎

7月 幹事会開催 北大遠
友学舎

8月 幹事会開催 北大遠
友学舎

9月 幹事会開催 北大遠
友学舎

10月 幹事会開催 北大遠
友学舎

11月 幹事会開催 北大遠
友学舎

12月 幹事会開催 北大遠
友学舎

1月 幹事会開催 北大遠
友学舎

2月 幹事会開催 北大遠
友学舎

3月 幹事会開催 北大遠
友学舎

4月 幹事会開催 北大遠
友学舎

5月 幹事会開催 北大遠
友学舎

6月 幹事会開催 北大遠
友学舎

7月 幹事会開催 北大遠
友学舎

8月 幹事会開催 北大遠
友学舎

9月 幹事会開催 北大遠
友学舎

10月 幹事会開催 北大遠
友学舎

11月 幹事会開催 北大遠
友学舎

12月 幹事会開催 北大遠
友学舎

※会費に鈴木 泰（19期昭和46年卒）
分広告費30,000円濱田一康（25期昭和52年卒）寄付金50,000円が含まれる
※H13年総会まで（H13.10.12現在）
200口
H13.10.13～H14.6.18 111口
総会時支払い分 29口
計340口
会費引きおろし使用分 270,000円
依って会費収入 562,180円

※総額金明細	
小口現金	38,689
郵便振替残	47,203
預金（東京三菱）	497
（北 洋）	83
計	86,472

収入の部		支出の部	
前期繰越	（H13.10.18）	93,813	総会時支払い
総会時収入	（37人）	243,000	通信費
借入金	（小島）	5,431	雑費
※会費収入		292,180	慶弔費
広告費	（ため児科・他）	60,000	返済
寄付金	（吉田副会長）	10,000	小計
			※総額金
	合 計	704,424	704,424

特筆すべきは2年赤字を
続けた同窓会の収支が少額
乍ら黒字となつたことです。
事務局のカンパの呼びか
けに早速にお応え頂いた札
幌市職員グループの皆さん。
19期46年卒、鈴木 泰さん。
25期52年卒、濱田一康さん。
其の他の皆さん。会費を納
入下さった340人の皆さん
に厚く感謝します。

其の他

教育学部同窓会のホームページ
制作の件
教育学部助教授、間宮正
幸先生のご尽力で同窓会の
紹介がホームページとなり
ました。多米会長の執筆に
より、同窓会の組織、事業
等の概略が理解出来るよう
になつております。
アドレスは

<http://www.hokudai.ac.jp/educat/graduate.html>
です。

鈴木朝英先生墓碑建立記
鈴木朝英先生の御遺骨は九月
八日新たに建立された左記の墓
所に納骨された旨御遺族より連
絡ありました。お通りがかりの
折は是非お参り下さい。

記

鈴木先生墓所
江別市営墓地 やすらぎ苑

（江別市対鷹）

南7区8番地
21号

鈴木家墓
（裏面）

（連絡先 小島 忍
386-5347）

第28回北大同窓会ゴルフ会開催される

札幌エルムカントリークラブは、北大構内で威容を誇る榆の木にちなんで名前をつけたゴルフ場です。
今シーズンは11月24日まで

希望の方は、遠慮なく吉田
支配人まで電話を。
(0123-333-5151)

當業予定です。プレーを

卒年	氏名	成績	卒年	氏名	成績
S29	多米 豊	GSブービー	S38	山田 有毅	
S29	伊藤 巍	GS8位	S38	高橋 洋介	
S29	佐渡 清隆		S42	葛岡 誠一	
S30	平野 信吉		S44	谷 雅之	
S30	常本 勇	GS優勝	S46	山本 哲二	
S31	吉田 敏雄		S47	吉田 敏博	JDブービー
S31	今井 康利		S49	高山 幸一	
S31	加藤 正司		S49	堀川 素人	
S31	小島 忍		S50	奥野 彰	JD15位
S34	大野 雅弘	SA8位	S54	藏満 保幸	
S34	越田 高弘		S63	大塚 功喜	JD準優勝
S36	田尾 直之	備考 GS:グランドシニア S:シニア J:ジュニア			

